

はしがき

『言葉と文化』の発行も六回目を迎えました。今回の第6号には9篇の論文が掲載されています。

このところ博士後期課程に進学を希望する学生が増え、博士号をめざして熱心に論文に取り組む学生も増え続けています。お互いに励まし合い、切磋琢磨するなかで、大きく成長する学生も少なくありません。

この研究誌は、そのような学生が大きな論文にチャレンジするための実力を養う場として作られました。学生の皆さんの論文は、先生方の査読によって掲載を許可されたものばかりですが、これはあくまでも出発点です。考え、書き、批判を乞うことによって自分の力を正しく認識し、今後の確かな方向を見定めること、この作業を繰り返して、学生の皆さんの一人でも多くが、博士論文完成という大目標を達成することを願ってやみません。

また、査読をお引き受けくださり、熱心にご指導いただいた先生方にも、この場をかりて深く感謝の意を申し述べます。

2005年2月2日

『言葉と文化』第6号
編集担当（専攻長）
前野 みち子